



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年4回発行（1月4月7月11月）

横浜スペイン協会創立 30 周年記念号

Vol. 1



ご挨拶

横浜スペイン協会会長 下山利明

今年、横浜スペイン協会創立 30 年の記念すべき年を迎えることが出来大変うれしく思います。当協会は 1990 年 7 月 7 日に桜の苗木の植樹を通して文化交流を深めようとスペイン好きのメンバーが集まって発足されました。創立以来、スペイン大使館の絶大なるご支援を賜りながら、ボランティア精神旺盛かつ情熱的行動力を受け継いだ歴代の理事と、会員の皆さまの貢献により着実に発展し現在に至っております。自分自身を振り返りますと、2016 年 5 月に 3 代目会長という大任を仰せつかってから今日まで、協会の設立趣旨に基づき様々な活動をして参りました。さくら植樹の交流は 2017 年 9 月レオン州、2018 年 5 月サンティアゴ巡礼冬の道に於いて実施致しました。スペイン文化の普及に関しましては、スペイン語教室の初級クラス新設により生徒数が増加した事と全国各地のスペイン交流協会との情報交換等を積極的に進めた事が挙げられます。本年は 30 周年記念イベントを色々と企画しております。第 1 弾として、既に 2 月 25 日にスペイン大使館の公邸に横浜緋桜を 3 本寄贈させて頂きました。4 月にはメインイベントであるロンダ市でのさくら植樹と市民交流を計画しておりましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が急速に進み、残念ながら延期という苦渋の決断をせざるを得ない状況でした。9 月には私たちのスペイン展、11 月には 30 周年記念コンサート&パーティーの開催を予定しており、着々とその準備を進めております。30 周年は 1 つの大きな節目です。皆様と共に喜びを分かち合い、盛大なお祝いにしたいと考えております。現時点では、新型コロナウイルスの感染収束の目途がたたない状況が続いておりますので、リスク対策の為、総会、理事会、サークル活動等をリモートで開催し協会の運営に滞りがないよう、新しい取り組みにチャレンジしております。今後も協会の設立趣旨である 1. さくらの植樹を通じたスペインとの交流 2. 日本におけるスペイン文化の普及 3. 全国の交流団体との交流、これらの活動を中心に日西友好に貢献して行きたいと考えております。引き続き、皆さまのご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



El Embajador de España

MENSAJE

Es una satisfacción y un motivo de orgullo celebrar el 30º aniversario de la fundación de la Sociedad Hispánica de Yokohama, con la que esta Embajada trabaja y colabora de manera continuada.

A mi llegada a Japón, el Consejero cultural, José A de Ory, me habló ya con especial cariño y respeto de la Sociedad Hispánica de Yokohama como modelo de buen funcionamiento entre las asociaciones que promocionan y fomentan la relación con España. He podido a lo largo del último año y medio comprobar que es así en efecto y ha sido para mí una satisfacción poder compartir momentos memorables con sus miembros.

Quiero hacer especial mención al trabajo que la Sociedad lleva a cabo como custodia de la tumba del Embajador Francisco José del Castillo, enterrado en el Cementerio de Extranjeros de Yokohama.

También deseo hacer mención a los cerezos Yokohama Hizakura que la Sociedad ha plantado en el jardín de la residencia que ocupo como Embajador de España, en 2005 con motivo del XV aniversario de la Sociedad, y últimamente el pasado mes de febrero. Fue para mí un motivo de alegría colaborar en el proceso de plantación de ese cerezo.

Espero que podamos seguir disfrutando de la Sociedad Hispánica de Yokohama por muchos años más y que podamos seguir colaborando en dar a conocer aún más la cultura española en Japón.




Jorge Toledo
Embajador de España

Embassy of Spain
1-3-29 Roppongi, Minato-ku
106-0032 Tokyo
Tel +81-3-3505-8764
Fax +81-3-3505-8783
e-mail: emb.tokio@maec.es



メッセージ

駐日スペイン大使

ホルヘ・トレド

横浜スペイン協会創立 30 周年をお祝いできることを喜ばしく誇りに思います。
スペイン大使館では継続的に同協会と様々な取り組みや協力を行ってきました。

スペインとの交流を普及し促進する全国のスペイン協会の中でもその役割において模範となっている横浜スペイン協会について、私が日本に着任した際にホセ・アントニオ・デオリ文化参事官が愛情と尊敬の念をこめて話してくれました。この 1 年半の間にこれが事実であると確認でき、協会メンバーの皆様と思い出となる時間を共有できたことを嬉しく思います。

横浜スペイン協会より横浜外人墓地に埋葬されているフランシスコ・ホセ・デル・カステイロリョ スペイン大使のお墓へご高配いただいていることを特筆したく思います。

また、横浜スペイン協会創立 15 周年を記念して 2005 年に、そしてこの 2 月にも私が住むスペイン大使公邸の庭に横浜緋桜を植えていただいたことを感謝いたします。植樹式に立ち会うことができ嬉しく思っています。

今後も横浜スペイン協会の皆さまと末永く楽しく、日本でスペイン文化を広めるために協力していきたく思っています。

横浜市長よりお祝いメッセージ



横浜市長 林 文子

横浜スペイン協会が設立 30 周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。長きにわたり、日本・横浜とスペインの交流の懸け橋としてご尽力いただいておりますことに深く敬意を表します。

今から 30 年前、貴協会は、初代会長 故下山貞明氏の「スペインに桜を植えよう」という呼びかけのもとに設立され、交流の輪を広げてこられました。以来、今日に至るまで、音楽・文学などの芸術分野や語学などを通じて、横浜市民とスペインの皆様との交流の絆を紡いでいらっしゃいます。スペインの各都市と横浜市との交流も、バルセロナ市とのスマートシティの取組やバルセロナ港湾局との連携強化の覚書締結等、年々活発になっております。

貴協会の設立のきっかけとなった「桜」は、古くから様々な日本の名歌に詠まれ、日本人の桜を愛でる「やまと心」の象徴として、変わらずに愛唱されてきました。昨年、横浜で熱戦が繰り広げられた「ラグビーワールドカップ 2019™」でも、日本代表のユニホームには満開の桜のエンブレムが輝き、その闘志あふれるプレーに日本中の人々が心を震わせました。今後も、「桜」を通じて、日本の心をスペインの皆様にお伝えいただき、将来にわたり両国の友情が繋がっていくことを願っております。

横浜市は、「ラグビーワールドカップ 2019™」での経験を活かし、来年に開催予定の「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」に向けて、着実に準備を進めております。心温まるおもてなしで国内外からお越しになるお客様をお迎えし、魅力あふれる都市・横浜の魅力を世界に発信してまいります。

むすびに、横浜スペイン協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

名古屋スペイン協会よりお祝いメッセージ

名古屋スペイン協会 事務局長 相澤 一中

横浜スペイン協会の創立 30 周年、誠におめでとうございます。

貴協会とは、パーティーや会報、情報交換などを通じて交流させていただいてきました。名古屋スペイン協会では、毎年 12 月に日本スペイン交流懇親会を開催しています。ここ 3 年では、下山会長をはじめ、武菱様、福長様、服部様にご出席いただき、大変感謝しております。この懇親会では、様々な賞品が当たる抽選会を開催しており、貴協会から毎年豪華な賞品（私の大好きな崎陽軒のシウマイ）を提供していただいています。この賞品、名古屋では購入できないこともあって、当選した会員の方々は毎年、大変喜んでおります。また貴協会の新春親睦パーティーに毎年ご招待していただき、役員、会員の方々といろいろな話ができることは、当協会の運営に大変役立っております。当協会では、スペインの音楽、絵画といった芸術、料理や文化、スポーツなどをテーマにしたコンサートやトークショーなどの例会を年 2 回、東京からスペイン人シェフを呼んでの本格的なタパスパーティーや日本スペイン交流懇親会、そして年 4 回の会報発行などを主な活動としています。今後の運営を模索している中で、貴協会の「スペイン語教室」や「スペインへの桜の植樹」等は多くの学ぶ点があり、見習いたい活動として当協会の目標となっています。

最後に、貴協会の益々のご発展を祈念するとともに、より一層の交流を図っていきたく思いますので、今後ともよろしく願いたします。

30周年記念事業第1弾 スペイン大使館への『さくら植樹』

六本木一丁目、都心の中で緑豊かな庭園があるスペイン大使館内には、毎年春にピンク色の横浜緋桜がこの庭園に美しさと明るさを見せています。本年2020年は、横浜スペイン協会の創立30周年の節目の年にあたり、協会としていくつかのイベントを計画しています。第1弾の催しとして、スペイン大使館でのさくら植樹を2月25日に行いました。大使館内での植樹は2005年に行って以来15年ぶりとなります。最初に植えた桜は現在3本(5本植樹)となりましたが、大きく成長しています。今回の記念植樹は3本の植樹を行うこととしました。植樹当日は、コロナの感染が国内において広がり始めた時期でしたが、曇り空の中、横浜スペイン協会から20名の方が参加されました。大使公邸前の記念植樹にはトレド大使や参加された皆さん方もスコップを手にして植樹を行いました。今回植樹した桜も、毎年春にはその美しい姿を見せてくれることと思います。植樹の後の懇親会は、コロナの影響を懸念して裏庭で行いました。そこには15年前に植えられた桜が大きく成長し、まもなく美しい桜の姿を見せるようでした。

横浜スペイン協会の始まりは、スペイン・ロンダ市でのさくら植樹に始まりました。スペイン大使館でのさくら植樹も日西の交流の場となればと思っています。来年の春には、コロナの影響が治まった中で、美しい桜を皆さんと大いに楽しみたいと期待しています。(武菱邦夫)



「横浜緋桜は日西市民交流の懸け橋」

東京の今年の桜の開花日が話題になりつつあった2月25日、私は久々に港区の駐日スペイン大使館の門をくぐりました。当協会設立30周年を記念するこの日の桜植樹とセレモニーには20名の会員の参加がありました。15年前の2005年2月24日には下山貞明会長を含め協会の有志4名と、桜の専門家の池本さん他職人2名で植樹した「横浜緋桜」は、鮮やかな濃いピンクの花が特徴で、その前年に新装となったスペイン大使館の白い壁に美しい彩を添えてきました。今回は大使公邸の入口左側に、最初にホルヘ・トレド大使閣下と下山利明会長が記念植樹をしたのち、参加者それぞれがスコップで土入れをし、公邸の周りに3本の植樹を終えました。スペイン国アンダルシアのロンダ市への最初の桜植樹が1993年に始まって以来、セヴィジャ市、コリア・デル・リオ市、そして協会創立25周年にはレオン州カミノ・デ・インビエルノ等へと日本の国花、桜の植樹を通しての日西の市民レベルの交流が続いています。(山崎宗城)



2月25日(火)、協会創立30周年記念行事のひとつとして、スペイン大使館で桜植樹が行われました。トレド大使はじめ総勢約25名での賑やかな催しとなり、大使公邸正面に植えた苗には参加者全員が順に土をかぶせていきました。あいにくの曇り空でしたが、冷え込みもなく、ロビーで始まった懇親会はピンチョスやタパスをつまみながら裏庭に会場を移していきました。暖冬の影響で、15年前に当協会が植えた横浜緋桜もいくつかのつぼみが早くもほころび始めていました。「満開の頃、また呼んでくださいね」のリクエストに大使は「いつでも歓迎です」と。時あたかも新型コロナウイルスが日本でも少しずつ広がり始め、大使も「ウイルスが怖いから今日は握手できないよ」と冗談交じりにおっしゃっていましたが、その頃はまだ世界がこんな大混乱に陥るとは誰も想像していませんでした。春に向けて気分はどんどん明るくなっていくと思っていたのに…。スペインでも2万人を超える犠牲者が出てしまいました。とにかく早くコロナ禍が終息し、「あたりまえの日常」が取り戻され、来年の開花後にオリンピックを心待ちにできる日々が訪れることを願って止みません。(山田るりこ)





スペイン大使館で2月25日に行われたスペイン協会30周年記念としての桜植樹に初めて参加させていただきました。当日は、トレド大使ご列席のもとスペイン協会下山会長ご夫妻や協会会員等20名の方の参加により無事苗木3本の植樹が終わり、その後前回植樹された広場にてレセプションが行われました。前回は2005年のスペイン協会創立15周年記念に行われたとのことですが、植樹された3本が立派に成長しているのを見て、大使館で大切に手入れして頂いているという印象を受けました。残念ながら、スペイン・ロンダでの今年の植樹はコロナウイルスの感染拡大により中止となってしまいましたが、今回の日本での植樹は大きな意義があったと思われます。一般的に桜の寿命は約60年とされていますが、スペインあるいは日本で定期的に桜植樹を行うことにより、スペインと協会との関係の継続、強化を期待したいと思います。(原健三郎)



<総会報告>

2020年度定時総会議事録

日時 : 2020年5月30日(土) 10:30 ~ 12:10
場所 : Skypeによるオンライン総会(出席者は自宅よりリモート参加)
出席人数 : 13名
(敬称略: 下山/臼井/岩田/武菱/服部/平本/福長/大戸正彦/大戸尚美/原
/宮岡/栗山/松村)
議長 : 下山利明会長

【議案】

1. 第1号議案 2019年度事業報告について
2. 第2号議案 (1) 2019年度会計決算報告について
(2) 監査報告
3. 第3号議案 2020年度事業計画(案)について
4. 第4号議案 2020年度会計収支予算(案)について

【議決】

第1号~第4号議案に関して審議を行い、出席者全員の賛同を得て全て承認・可決された。

【議事内容】

以下議事進行に伴う質問・意見などの補足内容については、ホームページ、会員専用ページご参照。

1. 臼井総務担当理事の司会で開催し、まず下山会長より挨拶があった。今回はコロナウィルス対応のためオンラインによるリモート総会開催となったが、今後は協会の運営方法も効率化を図っていく必要があるというコメントがあった。
2. 協会規約10条(2)に則り会長が議長の座に着き臼井理事より第1号議案の説明があった。引き続き第2号議案(1)について臼井理事より説明があった。この後同議案(2)「監査報告」は原監事から2019年度会計処理は適正に執行された旨の報告が行われた。
3. 第3号議案について下山会長より説明があり、各担当理事が補足説明を行った。第4号議案は下山会長より説明があった。
4. 2020年度 役員・委員選任報告

下山会長より協会規約第5条3項に従い、2020年度の役員改選が下記のように決まったとの報告があった。

再任

会長	下山 利明	広報担当
理事	岩田 岳久	スペイン語教室担当
理事	松村 清	会計、スペイン語教室副担当
理事	武菱 邦夫	渉外・イベント担当
理事	服部 君江	スペインサロン担当
理事	平本 紀子	スペインサロン副担当

新任

理事	大戸正彦	総務担当
理事	原 健三郎	スペイン語教室副担当

監事	本間 一彦
監事	星野 伸行

退任

理事	福長 昭代
理事	臼井 慎一
理事	古賀 恵子
監事	原 健三郎

監事 幸島 雄一郎
委員 桜田 ゆみ 渉外・イベント副担当
委員 中田 博久 スペイン語教室

<退任にあたって>

4期、8年に亘りスペイン語クラス担当の理事を務めさせて頂きました。その間に皆様から頂いたご支援ご協力に感謝申し上げます。スペイン語クラスは講師の方々の幅広い知識によるご指導を頂き、また一方では受講生の皆さまの熱心さによって充実した講座が展開されてきました。また夏期講習や特別講座では興味深いテーマでスペイン文化の知識と理解を深めることができました。更には協会のホームページを通じて外部の方々にも各種講座に参加頂くことになったのは有難いことでした。今後ますます充実した講座が展開されることを願っております。私自身もスペイン語クラス、協会での活動に参加させて頂き、本当に良い時を過ごさせて頂きました。心より御礼申し上げます。(福長昭代)

約6年間協会の運営に携わらせていただきました。協会の活動を通じ会員をはじめいろいろな方と出会い、これまでの社会経験では得られぬ世界とスペインの魅力を知ることができました。特に設立25周年のイベントのサルスエラの公演にスタッフとして参加、更にセリフのある役までいただきステージにも立てたことは忘れえぬ思い出です。公演のお土産のワインに特製ラベル貼りの作業を理事の方々と黙々としたあの夜も懐かしいです。30周年の今年は想定外の災禍に見舞われましたが、この難局を乗り越え協会が発展することをお祈りしています。(臼井 慎一)

この度理事を退任いたしました。25周年記念行事のお手伝いをしたことがきっかけで、その後2期4年間足掛け5年、主に会計関係を中心に担当してまいりました。その間各種の行事で会員の皆様にお目にかかり、いろいろお世話になりました。おかげさまでとても楽しく、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。これからもどうぞよろしく願いいたします。(古賀恵子)

<新任理事自己紹介>

総務担当の理事を拝命しました大戸です。入会は2015年4月で、2017年7月から1年間監事を務めさせて頂きいただいたこともあります。当時は地方勤務をしていたために、スペイン語の授業を受けることができませんでしたが、東京に戻って2018年10月から、セレッソクラスでスペイン語を勉強しています。横浜スペイン協会の運営が少しでも円滑に行われるために、尽力したいと思いますので、よろしく願いいたします。(大戸正彦)

今期より新たにスペイン語教室副担当理事となりました原健三郎です。スペイン協会には2016年11月に入会致しました。過去仕事の関係でスペインにはよく出張しましたが、これまでスペイン語を基礎から勉強する機会が無かったので、昨年4月よりリリオクラスでスペイン語の勉強を始めました。昨年5月に協会メンバーと共に[スペイン・サンティアゴ巡礼の道]に参加し、スペインがより身近に感じられるようになりました。これからは岩田さん、松村さんと一緒に、スペイン語クラスの皆様のお役に立てればと思っております。どうぞ宜しく願い致します。(原健三郎)

●スペイン語クラス

<入門クラス「フレッシュ」が開講しました>

昨年に続き、初めてスペイン語を学ばれる方や再度一から学び直したい方を対象としたフレッシュクラスが、6月25日に開講しました。当初4月開講の予定が新型コロナウイルスのために3ヶ月近く遅れてのスタートとなりましたが、お休みの間も講師の中園先生からメッセージとともに教科書の紹介もしていただいたので、自宅で学び始められた方もおられました。また、自宅に籠もっている間に学習意欲を増した方が多くおられたのか、開講間際に見学を希望された方が増えたのもコロナの影響かもしれません。まだ、受講生を募集しておりますので是非この機会にスペイン語を始められてはいかがでしょうか？（岩田岳久）



<臨時クラス委員会の報告>

6月13日(土)に臨時クラス委員会を開催しました。今回は新型コロナウイルスのため、初めての試みとしてスカイプによる委員会となり、各議題につき担当者からご報告頂きました。

- ① 松村理事より、6月15日からの受講再開につき、鍵を受け取る時のチェックシートの提出、マスクの着用、席の間隔を開ける等、県民センターよりお願いをされたとの報告がありました。また、当面、9階のコピー機、9階/10階のミーティングスペースは使用できないとのことです。
- ② 武菱理事より、30周年記念イベントについて、[私たちのスペイン展]の応募者は現在一件のみのためチラシの募集締切を8月半ばまで延期予定であり、再度各クラスでの作品募集のお願いがありました。
- ③ 福長元理事より、11月に実行予定の30周年記念パーティーでのスペイン語クラスによる催しについて現状説明がありました。1部の音楽祭に続き2部のパーティーでのクラス劇の提案があり、現在寸劇の浦島太郎を候補として検討しているとの連絡がありました。
- ④松村理事より、今期以降の授業料につき、受領済の前期3月分を7月分に充当し、追って9月と後期分をまとめて集金する予定との連絡がありました。

最後に下山会長より今回スカイプで開催出来たことにより、会議の方法も多様化している折から 今後も話し合う機会を増やして行きたいとのコメントがありました。（原 健三郎）

●スペイン・サロン

《30周年 スペイン・サロン記念講演会のお知らせ》

『アンドゥーハル Andujar の聖母 — 近世スペインにおけるムスリム王族の改宗』

日時 : 12月5日(土) 13時~15時

場所 : かながわ県民センター305号室

講師 : 関 哲行 (元流通経済大学教授)

会費 : 1000円

*関先生はスペインの歴史、マイノリティ、宗教、そして巡礼に関する著書を多数出版されていらっしゃいます。以前にも横浜スペイン協会で講演をされていて、お話が面白いと評判でした。

お申込み&お問合せ : spain_salon@yokohama-spain.jp (平本、服部)

●サークル

<CLUB2020>

当 CLUB2020 はオリンピックで日本を訪れるスペイン語圏の人たちを「おもてなしする」ために準備してきました。ただオリンピックの開催が 1 年ずれ込むことが明らかになった為当クラブの名称を<サークル VenteVente>と変更致しました。①スペイン語で日本の文化を紹介する。②日常のスペイン語会話の習得に重点を置く。③文法含め正しいスペイン語を習得する（文法講座も設ける）などを目標に講座を進めます。講座と違いサークル活動の為ある程度自由な、臨機応変な対応をはかることが可能なので、参加者の意見やアップデートな情報を積極的に取り込んで行きたいと考えております。ご指導は引き続き山田りこ先生にお願い致します。（福長昭代）

*活動日:第 1,3 火曜日を予定

<旅でスペインを識ろう会>

*運営担当退任にあたって

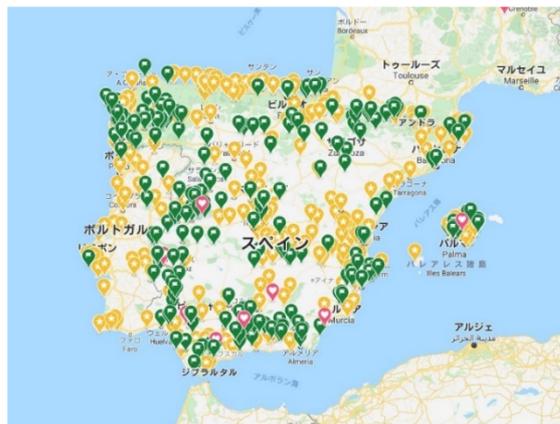
スペインが大好きな方たちとスペインを語ったらさぞや楽しいのではという思いで、2011 年 1 月にこのサークルを立ち上げました。当初数人の参加者から始まった会ですが、今では毎月 20 名を越すほどの参加者になりました。発表者のお話はどれも興味深く、歴史、建築、地理、音楽、食文化等を網羅しており、つくづく”旅はいいものだ”と実感させられました。この会を通じて参加者同士の交流が進んだことも、この会の大きなメリットでした。この 9 年間、私も多くのことを学ばせていただき、充実した年月でした。この経験は今や私の宝物となっております。今後は、スペイン旅のエキスパートでおられる胡桃澤恒二様がこの会を引き継いでくださることになり、頼もしい限りです。これからもこの「旅の会」が皆様に愛され、発展していくことを願ってやみません。（真木幸子）

*後任者からのご挨拶

今年度、真木さんより運営を引き継ぎました胡桃澤恒二です。2 年前に発表を依頼されて「旅の会」を知り、以降毎回出席しています。2011 年から続いているこの会を継続させるだけで精一杯ですが、多くの方のサポートをいただき努力してみます。私とスペインのかかわりは、1976 年に一人で Madrid へ出張したのが最初で、20 年ほど経った 1997 年からは妻と二人で旅しています。今までに訪れた場所をマークしてみました。皆さんの発表から、いろいろな旅の楽しみ方があるのを知り、まだまだ行って見たい場所ができました。歩けるうちに訪れて皆さんと楽しいスペインの旅を話せたら良いなと思っています。（胡桃澤恒二）

*「旅の会」をオンラインでの開催可能性を検討中

今年度は、COVID-19 のために人数制限が課されていて、20 数名が集える場所が確保できなくて開催していません。このままだと一回も開催しない年になってしまいそうです。悩んでいた時に、山田りこ先生が ZOOM 使用での開催を提案してくれました。急なことなのでスペイン語クラス（ハスミン・アマポーラ・セレッツ）の方々に協力をお願いして試行してみました。山田先生がホスト局を務めて準備していた PDF ファイルを表示しながら進めていただきました。先生のスキルに依存することが多いのですが、結果は好評で 34 名の方々が参加して下さいました。いただいた意見の中に、・自宅なので気軽に参加できる、・今まで時間の都合で参加できなかったが自宅なら参加できる、などがありました。場所が確保できなくても開催できそうなので、オンライン開催も検討しています。



「私たちのスペイン展」 展示作品を募集

横浜スペイン協会では創立 30 周年を記念して「私たちのスペイン展」を下記要領にて開催します。ついでには会員の皆様から展示する作品を募集させていただきます。絵画や写真・クラフト折り紙などでスペインに関連した作品なら何でも結構です。皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは AIYES 4 月号に同封した作品募集のチラシをご参照ください。尚、作品募集の期間は、7 月 24 日までとしましたがコロナの影響もあり 8 月 14 日までと変更いたします。また会期中の会場受付ボランティアも募集します。詳しくはホームページをご参照ください。

◇会場・・・かながわ県民センター展示場

◇開催期間・・・9 月 28 日（月）～10 月 1 日（木）

◇開会式典・・・9 月 28 日（月）スペイン大使館文化参事官によるテープカットとレセプション予定

◇主な展示予定内容

- ・応募作品
- ・協会の歩み
- ・活動紹介（クラス紹介・クラブ、サークル紹介など）
- ・観光コーナー（スペイン政府観光局 セルバンテス等）

***** 新会員紹介 *****

<賛助会員>



ラ イベリカ (La Iberica)

2020 年 6 月入会

横浜に食を通じてスペインの良さを広めていきたいです。
よろしく願いいたします。
(会員向けサービスをご提供いただきました。下記参照)

<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛 助 会 員	住 所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア 1 杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア 1 杯無料
La Iberica	横浜市西区北幸2-6-5 GEMS横浜3F	045-620-2156	タパス 1つ無料

《編集後記》ステイホーム期間は電車に乗ることもなく、したがって横浜駅にも寄りつかないでいたら、6 月初旬には駅周辺の工事はかなり進んでいました。あまりにも長い工事期間に「神奈川のサグラダ・ファミリア」などと悪口言われていましたが、駅ビルも完成してなんとなく先が見えてきた感じです。100 年以上建設中の本家も 2026 年には完成か、と言われてますね。となると…、未完の世界遺産も見ておきたいぞ。アフターコロナの予定が詰まってきて、あー忙しい?! (A.S)

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 大戸正彦 下山利明 武菱邦夫 服部君江 原健三郎 平本紀子 松村清

投稿寄稿宛先

E-mail

全般 : info@yokohama-spain.jp

スペイン語教室: spanish_class@yokohama-spain.jp

スペイン・サロン: spain_salon@yokohama-spain.jp

ホームページ : <http://www.yokohama-spain.jp>

横浜スペイン協会

次回の原稿締切は

10 月 15 日(木)です